

下鴨神社奉納

場所 下鴨神社 舞殿・橋殿

日時 平成30年5月4日(金) 午後1時

主催 下鴨神社
宮司 新木直人

共催 日本古武道振興会
会長 飯篠快貞

下鴨神社奉納演武

舞 殿

橋 殿

参加流派 30 参加人数 123 名 (直会参加 97 名)

- | | | |
|------------------------|----|---------------------|
| 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原 清忠) | 1 | |
| 貫心流剣術 (富士原 正雄) | 2 | 鞍馬流剣術 (柴田 章雄) |
| 荒木流軍用小具足 (保科 侃司) | 3 | 神夢想林崎流居合術 (鈴木ゆき子) |
| 佐分利流槍術、信抜流居合剣法 (川瀬 一道) | 4 | 神道無念流剣術 (小川 武) |
| 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏) | 5 | 神道夢想流杖術 (濱地 光男) |
| 関口流抜刀術 (祖父江光紀) | 6 | 無限神刀流居合術 (長尾 全祐) |
| 宝蔵院流高田派槍術 (一箭 順三) | 7 | 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平) |
| 小野派一刀流剣術 (鈴木ゆき子) | 8 | 戸山流抜刀道 (中村 朋子) |
| 無雙神傳英信流抜刀兵法 (森本 邦生) | 9 | 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司) |
| 天然理心流 (大塚 篤) | 10 | 心形刀流武芸形 (小林 強) |
| 夢想神伝居合重信流詰合 (津村 恵治) | 11 | 直心影流薙刀術 (園部 正美) |
| 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一) | 12 | 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀) |
| 直元流大長刀術 (鈴木ゆき子) | 13 | 竹内流捕手腰廻 (竹内 藤十郎) |
| 天道流薙刀術 (木村 恭子) | 14 | 兵法タイ捨流 (上原エリ子) |
| 今真流柔術捕手術 (米永 輝明) | 15 | 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞) |
| | 16 | 琉球古武術 (井上 貴勝) |

15 流派 59 名

15 流派 64 名

〈流儀解説〉
井 上 貴 勝

平成 30 年 (2018) 5 月 4 日

下鴨神社 奉納演武順序

舞 殿

一、小笠原流弓馬術礼法 (小笠原長清)

小笠原清忠 (神奈川県)
小笠原清
佐保川誠一
和太川誠一
鈴木田浩一

二、貫心流剣術 (穴戸司箭家俊)

富士原正雄 (兵庫県)
福浦清文
鈴木昌也
松本
竹屋明
矢島亜彦
谷口信彦

三、荒木流軍用小具足 (荒木夢仁齊源秀繩)

保科侃司 (埼玉県)
千代明子
鶴岡優子

四、佐分利流槍術 信拔流居合剣法（佐分利猪之助重隆）

川瀬一 道（広島県）

五、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵玄信）

宮田和宏（福岡県）
宮田和宏
長富昭長
メ・ル・ハヤシ

六、関口流抜刀術（関口八郎左衛門源實親）

祖父江光紀（茨城県）
徳井哲夫
坂下忠國
山際英人

七、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覚禪房法印胤栄）

一 箭 順 三（奈良県）
若美林 箭 順 三
佐藤馬 博 幹 順 三
半田藤 敦 博 幹 順 三
西堀田 清 敦 博 幹 順 三
田口昌 昭 作 裕 寛 幸 雄 三

八、小野派一刀流劍術(伊藤一刀齋景久)

鈴木宮大後酒 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内
鈴木木木木木 鈴木木井藤竹内

九、無雙神傳英信流拔刀兵法(林崎甚助重信)

森本邦生(広島県)

十、天然理心流(近藤内蔵之助藤原長裕)

大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)
大塚 眞正英 篤(茨城県)

十一、夢想神伝居合重信流詰合(林崎甚助重信)

津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)
津村 恵治(埼玉県)

十二、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳生 耕一（愛知県）

十三、直元流大長刀術（天真正笠井藤左衛門尉）

宮 鈴
内 木
ゆき
一 子

十四、天道流薙刀術（齋藤判官伝鬼房）

木 村 恭 子（東京都）

十五、今真流柔術捕手術（関六郎藤原武綱）

米 輝 明（大阪府）
浦大 葭米
田村 谷永
英芳 康輝
昭春 二明

和田 山吉
室 田 富橋
美 順 久 美
津 知 子
江 子 代 子

柳野 西 紀 永 数
生 村 川 崎 井 納
耕 明 裕 一 秀
一 德 之 剛 彰 明

橋 殿

二、鞍馬流劍術（大野 将監）

柴田章雄（東京都）

三、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

柴田章雄
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田
柴田田田

四、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後
鈴木宮大後

小川武（東京都）

小川武
小川武
小川武
小川武
小川武
小川武
小川武
小川武
小川武
小川武

五、神道夢想流杖術（夢想權之助勝吉）

濱地光男（愛知県）
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男
濱地光男

六、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

七、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

八、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

九、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

池田 純真
川田 由美

長尾全祐
（千葉県）

平岡 祥淑
鈴木 貴之
古澤 智久
芦澤 朱未

石本一平
（兵庫縣）

石本 恒夫
中 恒夫

中村朋子
（神奈川縣）

高野 弘光
阿部 英夫

梶塚靖司
（栃木縣）

高橋 慶太
藤澤 勝也
前田 樹里
鈴木 真由

十、心形刀流武芸形（伊庭是水軒秀明）

小林強（三重県）

小加振中伊
林藤角西東
尚卓卓加
大哉男奈

十一、直心影流薙刀術（山田平左衛門藤原光徳）

園部正美（奈良県）

福香今大大松
岡川川林石野
輝隆潤栄洋富
美子子子子代

十二、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

高橋次秀（東京都）

高平毛高
橋本利橋
次叡公柚
秀正則雅航

十三、竹内流捕手腰廻（竹内中務大輔久盛）

竹内藤十郎（岡山県）

竹竹
内内
藤十郎
将郎

十四、兵法タイ捨流（丸目藏人佐藤原長恵）

十五、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

十六、琉球古武術

須竹
田内
勢
篤至

上原
工リ子（熊本県）
山本隆博
原エリ子

飯篠快貞（千葉県）
飯篠快貞

井上貴勝（東京都）
井上貴勝

井上矢矢藤藤皆塩山矢道恵吉井
上田野野田田川田口野正下田上
俊哲愛 義千 久量八泰浄 貴
二也結香則種繁男也郎弘尊実勝

日本古武道振興会役員名簿

顧問

(公財) 全日本柔道連盟会長	山下泰裕
(一財) 全日本剣道連盟会長	張 富士夫
(公財) 全日本弓道連盟会長	中野秀也
(公財) 全日本なぎなた連盟会長	佐藤浩市
(公財) 合気会理事長	植芝守央

会長

天真正伝香取神道流兵法	飯篠快貞
-------------	------

副会長

小笠原流弓馬術礼法	小笠原清忠
柳生新陰流兵法	柳生耕一

常任理事・事務局

鞍馬流剣術	柴田章雄
-------	------

常任理事・会計担当

神道無念流剣術	小川武
---------	-----

常任理事・事務局顧問担当

琉球古武術	井上貴勝
-------	------

常任理事

宝蔵院流高田派槍術

一箭順三

荒木流劍法

菊池邦光

天道流薙刀術

木村恭子

大東流合気柔術

近藤勝之

澁川一流柔術・無雙神傳英信流抜刀兵法

森本邦生

理事

鹿島神傳直新影流

岩佐勝

竹内流腰廻小具足

竹内藤一郎

氣樂流柔術

水科壽美

監事

天神真楊流柔術

久保田修弘

評議員

立身流

加藤紘

古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によって得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもって自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、浅草神社、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催致しました。古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>
メール kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp